



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：感染症科・渋谷 晃子

【研究責任者】

聖路加国際病院 感染症科 渋谷 晃子

HIV 患者さんにおける肛門がんスクリーニングと前がん病変の有病率についての研究

1.研究の対象

- ・2014年1月から2024年4月までに当院に通院している18歳以上のHIV感染症の方

2.研究の目的・方法

HIV患者さんにおける肛門がんの有病率は高く、定期的な検査が推奨されていますが、日本で肛門がんスクリーニングを行っている施設はほとんどありません。本研究の目的は、当院でHIV患者さんに対して毎年、肛門のスクリーニング検査を行っていることで、肛門がんの前癌病変の早期発見につながっている旨、またその有病率を把握することです。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年6月24日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、HIVの治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、血液検査データ、内服薬の状況 等